

インターバンクの声（2015 年 8 月 20 日）

ニューヨーク市場の午後、7 月 28－29 日に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録が公表された。金融情報メディアのフライング発表のおかげが付いてしまった影響から正式な議事録リリースの時間も早められたが、9 月利上げ示唆を待っていた市場にとっては失望する結果となった。議事録では、大半のメンバーが「政策を引き締める状況には依然として達していない、ただし利上げが近づいている状況にある」と記され、すでに利上げの段階にあると判断したメンバーは最少人数だったようだ。インフレを確信するためにさらなる証拠が必要で実質賃金の上昇も必要としている部分は以前から表明されている通りだが、中国の景気減速による悪影響の可能性への言及があり、その後に先週の人民元の切り下げがあったわけで、市場が 9 月の利上げの可能性が大幅に後退したと受け取るのも無理はないかも知れない。議事録公表後に上昇したニューヨーク・ダウが引けに向けて再び下げたのが市場のセンチメントを如実に表していたようだ。指標の精査が引き続き必要になり、またしても個人消費や雇用統計の結果が重要になりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。